

東京都府中市に大規模データセンターを開業

～最大受電容量 50 メガワット、延べ床面積 4.5 万平方メートル超の規模で
ハイパースケーラーの需要に対応～

ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）と、ソフトバンクの子会社でクラウド・データセンター専門会社の株式会社 IDC フロンティア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 勝久、以下「IDC フロンティア」）は、大手クラウドサービスプロバイダー（ハイパースケーラー）の需要に対応した、最大受電容量 50 メガワット（MW）、延べ床面積 4.5 万平方メートル超の大規模データセンター「東京府中データセンター」（以下「本データセンター」）を東京都府中市に開設し、2020 年 12 月 1 日から運用を開始しました。本データセンターは、両社が保有するデータセンターで最大の規模^{*1}です。

■本データセンターの開設の背景

昨今、企業や官公庁などが IT システムの導入や移行をする際に、クラウドサービスの採用を第一に検討する「クラウドファースト」という考え方が浸透しており、国内のクラウド化が急速に進んでいます。これに伴って、大手クラウドサービスプロバイダーや、SNS や動画サービスなどの大手コンテンツ事業者の利用に対応した、大規模なスペースを提供できるデータセンターの需要が高まっています。加えて、企業などの DX（デジタルトランスフォーメーション）が進む中で、AI（人工知能）および IoT の活用や、今後の 5G（第 5 世代移動通信システム）の普及に伴ってデータ量も増大していくと考えられており、その処理が可能な大容量のコンピューティングリソースが求められています。

そこでソフトバンクと IDC フロンティアは、こうしたクラウドサービスの需要拡大や、AI・IoT 時代の多様な需要に対応するため、大規模な受電容量と広大なスペースを提供する「ハイパースケールデータセンター」として本データセンターを開設しました。

■本データセンターについて

本データセンターは、最大 50MW の受電容量を備え、ソフトバンクが保有している都内最大のデータセンターの約 2 倍となる、延べ床面積 4.5 万平方メートル超の大規模データセンターです。サーバー棟とオフィス棟で構成しており、サーバー棟には約 4,000 ラックの設備を収容し、室単位のデータホールサービスや、高密度かつ 1 ラック当たり最大 20 キロボルトアンペア（kVA）の電力高負荷対応を実現するコロケーションサービス、各種マネジメントサービスを提供します。また、本データセンターのオフィス棟の一部を、お客さま専用のオフィスやラボ環境などに利用できる多目的スペースとして提供します。

さらに、ニューノーマル時代に即したセキュリティーとして、高い精度とスピードを誇る最新の顔認証システムを導入しており、非対面かつ非接触型でスピーディーな入館ができます。サーバールームの入退室は、顔認証に加えて他の生体認証（静脈認証など）を組み合わせることで、物理キーを使用せずにラックを解錠することもでき、より高度なセキュリティーを実現することが可能です。

ソフトバンクは、本データセンターを国内外の他の通信事業者の回線サービスなどにも対応したキャリアフリーのスペースとして提供します。また、本データセンターと都内にある自社のネットワークセンターなどを低遅延かつ高品質の伝送路システムで接続します。

IDC フロンティアは、長年のデータセンター運用の知見を生かし、本データセンターを含む両社のデータセンター15 拠点の運用と管理を行います。また、他の IDC フロンティアの拠点およびクラウドサービスとも接続し、データホールサービスやコロケーションサービスなどお客様のビジネスニーズに合わせた高品質な IT 基盤を提供します。

本データセンターの詳細およびお問い合わせは、下記のページをご覧ください。

ソフトバンク：<https://www.softbank.jp/biz/datacenter/>

IDC フロンティア：<https://www.idcf.jp/datacenter/>

<「東京府中データセンター」の概要>

名称	東京府中データセンター
立地	東京都府中市（地震に関する地域危険度の最小ランク（危険度1）地域 ^{※2} ）
建築面積	7,225 平方メートル
延べ床面積	4 万 5,419 平方メートル
階数	サーバー棟：地下1階～地上7階 オフィス棟：地下1階～地上3階
主要構造	データセンター専用建物 サーバー棟：基礎免震構造 オフィス棟：耐震構造
最大受電容量	50MW（IT容量35MW）／特別高圧 ループ受電
収容可能ラック数	約4,000ラック
ラック電力	7～10kVA（一般エリア）／15～20kVA（高電力エリア）
ネットワーク	キャリアフリー、閉域網またはインターネット網への接続
認証システム	顔認証、静脈認証など
非常用発電機	N+1 冗長構成 48 時間連続運転可能
無停電電源装置（UPS） ^{※3}	N+1 冗長構成 バッテリー供給時間 10 分間
提供サービス	データホールサービス（室単位） コロケーションサービス（ラック単位） インターネット接続、クラウド・データセンター間閉域網接続サービス オンサイト運用代行サービス

■ 「東京府中データセンター」の外観



■ 「東京府中データセンター」の内観



サーバールーム（コロケーション）



サーバールーム（データホール）



エントランスロビー

※1 両社が保有するデータセンター合計 20 拠点の延べ床面積を比較。

※2 出典：2018 年 2 月公表 東京都都市整備局「地震に関する地域危険度測定調査〔第 8 回〕」

（参考）「東京危険度マップ 東京 23 区+多摩地域」北多摩地域 https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/bosai/pdf/bosai4_151.pdf

※3 無停電電源装置（UPS）は、商用電源の瞬間的な電圧低下や、供給障害による非常用発電機への切り替え時などにも、内蔵されたバッテリーにより安定した電力を供給し続けます。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。